

# 身近な地質スポット

## 三重県志摩市/志摩地方のリアス式海岸

三重県中西部の志摩半島には、リアス式海岸と呼ばれる複雑に入り組んだ海岸線が発達しており、風光明媚なことから伊勢志摩国立公園に指定されている。リアス式海岸が続く志摩市周辺には、英虞湾、的矢湾および五ヶ所湾などの大きな内湾の中に大小様々な島や無数の入り江がある。特に英虞湾は、以下の空撮写真に示すような美しい風景であり「21世紀に残したい日本の風景100選」第6位に選ばれている。



写真-1 英虞湾中心部の空撮写真



写真-2 先志摩半島(太平洋側)の海岸崖

先志摩半島の外洋に面する海岸線は、随所に波の浸食によって海食崖が発達しており、崖上は標高20~40m程度の隆起海食台となっている。(写真-2)この海食台の上に鵜方層が載っている。

志摩市周辺では、外洋側に海食崖のほかに海食洞、内湾側に魚骨状・鋸歯状の小島群など特殊地形が数多く点在している。

英虞湾を中心とする志摩市周辺の地質は、西南日本外帯の地質区に属する中生代白亜紀の付加体で、厚い砂岩層と砂岩泥岩互層を主体とする四万十累層群的矢層群が広く分布する。

(図.1、写真-3) 的矢層群は、一般に大陸側に高角度で傾斜しており、一部にチャート・緑色岩・礫岩等を含むものである。先志摩半島周辺では、的矢層群を不整合に被覆する第四紀更新世の海成段丘堆積物である鵜方層が分布している。



図.1 志摩市周辺の地質 (文献1:一部加工)



写真-3 志摩半島最南端の直下の的矢層群(砂岩泥岩互層)

### 【参考文献・写真提供】

- 1)三重県地質図(S=1:200,000)S55.3 三重県
- 2)写真提供(空撮写真) 財団法人 伊勢志摩国立公園協会



地図の出演：NAVITIME ホームページ <http://www.navitime.co.jp>

きんせい

場所：三重県志摩市阿児町鶴方 2850-126

営業時間：11:00～14:00 18:00～22:00

定休日：木曜日

今回は店の看板メニューである『担々麺』を頂きました。  
 一見シンプルな見た目ですがクセになる濃厚胡麻スープがよく絡む担々麺でした。  
 店内も地元の方々や学生さんで溢れていました。

